

海外安全対策情報

【2020年10月～12月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、各種犯罪は日常的に発生してお
り、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、新型コロナウイルス
のため倒産・失業者が増え、それに伴い犯罪も増加しているとの風評もあります。

当地での犯罪の態様には、飲酒や交通マナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、些細
なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報道されています。さらに、投
資話や恋愛関係にだまされ振り込んだ金が返ってこない詐欺、電信ネット詐欺、ネズ
ミ講詐欺などの知能犯犯罪、麻薬などの違法薬物犯罪が後を絶たない状況にありま
す。

当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないこ
とはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しない、飲酒者に自己所有の車両を運
転させないように気をつけなければなりません。また、売春などの性的サービスも禁
止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場など
でトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような
点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 窃盗（青島市、胶州市）

ア 侵入盗（青島市）

10月25日、村人から隣の庭に見知らぬ男がいると連絡を受けた西海岸新区の
某村の書記が、その男を捜し出し写真に撮ったところ、男が民家に入ったことから
泥棒だと思い警察に通報した。その後、男はバスに乗り立ち去ったが、通報を
受けた警察が当該バスを追いかけて、バス停で停車ところで乗車していた男を発見
し検挙した。男は、複数の窃盗の前科を持ち、当日は民家から指輪を盗んだこと

海外安全対策情報

を認めた。

イ 空き巣（青島市）

11月3日以降、青島市黄島周辺では空き巣の被害が連続して発生し、いずれも日中家人が不在の家を狙って犯行が行われていた。犯人は、帽子とマスクを着用していたが、ある監視カメラに顔がはっきりと映っていた。8日、民警が警らしていたところ、偶然監視カメラに写っていた顔に似た男を発見しその場で検挙した。同男は、3日午後に2軒の民家に侵入しノートパソコン、携帯電話など2万円相当を盗んだことを認めた。

ウ 盗掘（青島市）

9月20日、黄島警察に農場の松の苗木が7,8本切られたとの通報があった。警察が農場に赴いたところ、農場には二つの盛り土があり、村人によればその盛り土は古墳であるとのことで、古墳には掘られたような跡があった。後日、警察が張り込みをしていたところ、2台の車が現場に来て数時間後に離れたことから、車が止まった場所で乗っていた8名を検挙し、車内から墓を掘るのに使用した道具を押収した。容疑者は、18日夜に古墳から2個の青磁の壺などを盗んでいたことを認めた。

エ 車上ねらい（青島市）

10月18日、青島市内の駐車場に駐車した車の助手席に置いてあったリュックがなくなっていたとの通報があった。運転手は、慌てていたのでドアの鍵をかけ忘れていた。警察が付近の監視カメラ映像を解析し、怪しい男を発見、同男の行動を追跡したところ、容疑者の身分が判明、検挙した。容疑者は、9月以降スーパー等の駐車場で、無施錠の車を狙って車上ねらいを繰り返していた。

オ オートバイ盗難（青島市）

10月、青島市開発区警察にショッピングモールのそばに駐車していたオートバイを盗まれたとの通報があり、民警が現場に赴いたところ、容疑者が盗まれたオートバイに乗って逃走するのを発見した。民警が追跡し、数時間後某小区にいた容疑者を発見検挙した。容疑者はこれまでに、西海岸新区や胶州などでオートバイ窃盗を繰り返していた。

カ 電動三輪車盗難（青島市）

10月、即墨公安分局に市場近くに駐めていた電動三輪車が盗まれたとの通報があった。民警が付近の監視カメラを確認したところ、電動三輪車はわざと田舎道を通っていたが某社区に現れたのを突き止めた。民警が同社区で容疑者を発見検挙し、犯行に使った道具と電動三輪車を押収した。

キ パソコン部品盗難（青島市）

10月、嶗山区にあるインターネットカフェ店内の複数のパソコンからビデオカ

海外安全対策情報

ード、CPU 等合計 4 万元相当の部品が盗まれる被害があった。民警が付近の監視カメラを解析し、怪しい男を発見した。同男を検挙し追及したところ、5 回に渡り同店で店員が寝ている隙にパソコンから部品を盗んだことを認めた。

ク 連続スリ被害（青島市）

10 月 29 日と 30 日青島市内の某市場において、刃物で鞆を切られ中の財布等が盗まれるスリ被害が連続発生した。警察が発生時間帯に張り込みを行ったところ、怪しい年齢 60 歳くらいの女を発見、尾行し身元を確認、11 月 1 日、同女の居住先を突きとめ派出所に連行し津休した結果、女は犯行を認めた。女はスリでの収監歴があり、仕事もなかったことから再びスリを行うことを決心、29 日と 30 日の両日で 5 件の犯行を行っていた。

ケ 資材盗難（青島市）

11 月 3 日青島市黄島公安分局は、建設現場からケーブルを盗んでいたグループ 4 名を検挙した。同グループは、建設現場の警備が緩くなる夜間に忍び込みケーブルを盗み出し、盗んだケーブルを売り払って金を得ていた。これまでに 30 件の犯行を行い、被害額は 100 万元強であった。

コ 農作物窃盗（胶州市）

今年はネギの相場が良く、例年の 2 倍強の価格で取引されているところ、胶州市ではネギ等の農作物の窃盗被害が多発している。11 月 8 日夜、盗んだネギや白菜を積んだ車を検挙、運転手は、夜なので農家は寝ている時間であろうと思い家で食べるために盗んだと供述した。翌 9 日夜半、ネギを満載した三輪車を検挙、運転手によれば、この辺のネギは品質が良く値段も高いので、これまでに 2 回夜中に盗んで売り払い 1000 元強を得ていたとのこと。

（2）公共安全危害罪（青島市）

2 月末青島市にある某住宅会社に、毎日正午や午後 5 時半前後になるとパチンコ玉などが打ち込まれ、ビルの窓ガラスやビル前の車の窓が割られる被害が発生した。3 月 27 日、住宅会社の前にある溶接会社の溶接工がパチンコやパチンコ玉を多数保有していることが判明、溶接工は 2 月 20 日ころから、会社の寮の近くにある松の木を標的にして撃っていたところ、松の木の裏にあった住宅会社に玉が飛んでいき、被害が出ていたもの。溶接工に対して公共安全危害罪に当てはまるとして、懲役 3 年、執行猶予 3 年の判決が下された。

（3）詐欺（済南市、青島市）

ア スマホゲーム詐欺（済南市）

3 月、19 歳の女性がスマホゲームをダウンロードし、「チャージしただけお金を返す」との広告に乗せられ 300 元をチャージしたが返金がなかった。女性が相手に連絡したところ、入力ミスがあったのでチャージできなかった。申請するには 2 度チャージが必要であるとの言葉を信じ再度チャージした。同じような言葉に

海外安全対策情報

乗せられ数時間の内に十数回チャージし、学費のための貯金や借りた金合計5万円を使ってしまった。騙されたことに気が付き翌日通報、警察が2ヶ月後、容疑者5名を検挙した。5名は、被害者選定、偽プラットフォーム、技術支援、金受取などの分担を決めて詐欺を行っていた。

イ インフルエンサー詐欺（済南市）

9月、済南市公安局に女性から誰かに尾行されているとの通報があり、通報者はネットで人気のインフルエンサーであった。捜査の結果、女性を尾行していたのは貿易会社の社員であったが、当該貿易会社から通報者の女性に騙されていたとの訴えもあった。貿易会社は、インフルエンサーにネットで宣伝してもらえば売り上げが伸びると考え女性に宣伝を依頼、女性も一人につき0.58円でフォロワーをつけることができると言ったため580万円を支払った。しかし、数ヶ月後もフォロワーが増えなかったことから騙されたと思い通報した。調べによれば女性が受け取ったお金は、親戚に送金したり車両購入に使っており、フォロワーを増やすためには使っておらず、女性は「私にはそんな力はない」とも言っている。

ウ ネット金融詐欺（済南市）

済南市の花屋の経営がおもわしくなく、経営者の女性はネット金融から金を借りることにした。女性は相手の要求とおりに身分証の写真や銀行カードの情報を教え、携帯電話に届いたクレジットカードの二次認証コードも教えた。その後、女性のクレジットカードから複数回に渡り合計1万元が支払われていたため、警察に通報した。済南市公安局に容疑者は検挙され、支払われた金も取り戻すことができた。

エ 他人名義SIMカードによる詐欺（青島市）

10月24日、青島市公安局市北分局に携帯電話ショップで複数の若い男が大量のSIMカードを購入しているとの通報が入った。捜査の結果、無職者や学生を使って携帯SIMカードを購入させ、SIMカードを電信ネット詐欺に使用していたことが判明し、容疑者12名を検挙、SIMカード40枚、携帯電話10台を押収した。SIMカードを購入していた学生らは詐欺に使われるとは知らず、1枚につき数十円を得ていたが、詐欺グループは1枚数百円で購入しネット上に詐欺情報を発信していた。詐欺グループは、今年7月からSIMカード購入を始め、これまでに200万回詐欺情報を発信し10万円を騙し取っていた。

オ 当たり屋（青島市）

11月、青島市で当たり屋を繰り返していた男が検挙された。同男は、青島に出稼ぎに来ていたところ、4年前に車とぶつかった際、運転手から200円をせしめることのできたので、金を稼ぐ良い機会だと考え「当たり屋」詐欺を始めた。男は4年間で30件強の当たり屋行為を行い、合計6万円強を得ていた。

カ キャッシュカード違法転売（青島市）

海外安全対策情報

11月7日青島市公安局市北分局は、違法な用途に使われることを知りながら、キャッシュカード3枚と携帯SIMカード1枚を1000円で売った男を検挙した。同男については、公安部から市北分局反詐欺センターに対して、男名義のキャッシュカードが全国各地で電信ネット詐欺に使われているとの通報があり、捜査の結果、検挙に至った。

(4) 強制執行妨害 (青島市)

11月10日即墨法院は、競売にかけられた家から前住人が出て行かないことから、強制執行するために同家に赴いた。家の前所有者である男は、公安による判決執行拒否罪の捜査から逃れるため何れかへ逃亡しており、家には男の義理の父が住んでいた。家の塀の上には有刺鉄線が設置されていたことから、鍵業者に門の鍵を開けさせたところ、中から包丁とガス缶、ライターを持った義理の父が出て来て「死ねば諸共」などと叫んだため、警察が制圧して公務妨害罪で検挙、現在は刑事拘留に処している。

(5) 偽ブランド品修繕 (青島市)

10月28日青島市公安局は、浴室修繕に使用する製品に有名ブランドの偽物を使用していた修繕業者を検挙した。同業者は、2019年から浴室修繕に有名ブランドを使用すると広告を出していたが、有名ブランド品は高くコストがかかったため、今年6月に400個の偽物を仕入れそれを修繕に使用しており、製品の価格差は50万円もあった。

(6) 大麻密栽培 (青島市)

11月、青島市開発区警察に窓や戸が閉めっぱなしの不気味な部屋があるとの通報があった。同部屋について調べると、40歳代の男が一人で住んでいる部屋で、男はいつも一人でぶらぶらして決まった仕事についておらず、部屋の窓とガラス戸は全てアルミホイルで覆っていた。16日、薬物対策民警が部屋に入ったところ、寝室の全ての壁をアルミホイルで覆っており、天井には大きな紫外線灯があり、床には緑色の草が植えられた50個余りの植木鉢があるのを発見した。草は大麻であり、同男によれば、国外から大麻の種を仕入れネットで設備を揃えて「栽培基地」を作り、大麻を栽培していたとのこと。

4. 治安対策等報道

(1) 国慶節連休期間中警察活動 (青島市)

今年の国慶節連休期間中、青島市では刑事事件状況が前年同期比で11%減少し、青島市公安局が検挙した各種刑事事件犯罪は54件、犯罪被疑者は26名、ネット指名手配犯は10名であった。交通警察が検挙した酒気帯び運転、酒酔い運転、疲労運転など重大交通違反行為は5.2万件で、青島市全域での交通事故は前年同期比2.8%減少した。国慶節連休期間中の青島市公安局民警の総残業時間は76万時間であった。

(2) 集中取締り（青島市）

10月24日夜、青島市公安局は集中取締りを実施し、刑事拘留40名、治安拘留206名、違法営業16カ所、罰金19.91万元を取り締まった。「街浄化」行動では売春と賭博の取締りを行い、某小区の部屋で売春をしていた者、売春の客引き、麻雀賭博をしていた者などを検挙した。青島市交通警察は、同日夜に飲酒運転97件、過積載68件などの重大違反行為を1751件検挙した。

(3) 飲酒運転集中取締り（青島市）

11月6日青島交通警察は、飲酒運転集中取締りを行い、74件の飲酒運転を検挙した。交通警察は、市民が飲酒運転行為を見つけたときには「122」に電話して通報するように求めている。

(4) 越境賭博取締り（山東省）

最近の越境賭博は新型コロナの影響により国外賭博が減り、ネット賭博が主流となっているところ、山東省公安庁では越境賭博取締りを強化している。取締り重点は、ネット賭博の元締め、国外賭博場及びネット賭博を営んでいる中国人、地下銀行と資金ルート、ネット技術提供者などである。今年は今までのところ、ネット賭博848件、容疑者2414名、違法支払い、地下銀行、技術提供など266件、賭博参加者2009名を検挙した。

(5) 交通違反・事故統計（青島市）

12月2日青島交通警察の発表によれば、今年の青島交通警察が取り締まった交通違反は合計189.3万件であり、その内酒気帯び運転が2904件、酒酔い運転が1243件、過積載が2.1万件であった。また、1月～10月までの青島市で発生した交通事故は1296件、死亡者が232名、負傷者が1314名、経済的損失が419.4万元であり、それぞれ前年同期比9.05%減、7.2%減、8.37%減、1.24%減であった。